



第47回 小樽商業高校 緑陵祭

そしていよいよ来年度、100周年を迎え、現在は、協賛会の予定を立て準備している状況です。来年度に向けて、校長先生の意向を十分に把握し、先生方をまともて、同時に尊商会、PTAの方々との連携を図りな

東京尊商会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育に多大なるご協力と心温まるご支援をいただき厚くお礼申し上げます。



教頭
金子義之

同窓の絆

100周年に向けて

北海道小樽商業高等学校

私は昨年、金濱校長先生、川瀬事務長と伴に本校に着任しました。私自身小樽生まれの小樽育ちで、教育実習も本校で行いました。

現在の実習棟はその当時出来たてであり、いつも玄関が分からなくなる古い木造校舎が大変懐かしく思われます。

大学時代通った地獄坂を、社会人として再び経験できるのは感慨深いものがあります。

また、北海道の商業教育の中心を担ってきた本校は、商業教員であれば誰もが一度は働いてみたいと思うあの校

の学校です。

そしていよいよ来年度、100周年を迎え、現在は、協賛会の予定を立て準備している状況です。来年度に向けて、校長先生の意向を十分に把握し、先生方をまともて、同時に尊商会、PTAの方々との連携を図りな



麦笛

17号

2012年8月25日

発行

東京尊商会広報委員会

発行人

市川東紀宗 (42期)

1-12-1 新有楽町ビル
サン バイタル館内

TEL 011-232-0000

FAX 011-232-0000

E-mail 011-232-0000

同窓の絆

がら、本校生徒たちのために、全力を尽くして参りますので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の「麦笛」には学校祭と、100周年に向けての取組についてお話しいたします。

47回目を迎えた学校祭「緑陵祭」。テーマはくしくも「絆」です。

7月21日(土)はパフォーミングス。クラスのテーマに合わせて、使用しなくなったシャツのみで、自分たちで染色から裁断、縫製まで行いました。そしてその衣装を着て、これまた自分たちで考えた踊りを披露しました(写真下・左)。

小樽のサンモール商店街での披露は、多くの小樽市民の方々にも見ていただいております(写真下・中)。

22日(日)の一般公開では、模範店や学級展示など、PTAの方々との協力による焼き鳥など、今年は過去最高の来客者数を記録できました。

開校100周年に向けて、校内でも気運が高まりつつあります。

校友会が主催する「植樹」は、生徒・教職員・保護者・卒業生の交流の場とすることを基本理念とし、植樹に関わり学校林を育成することにより、自然の大切さと尊さを学ぶことを目的として、例年行われているものです(写真下・右)。

昨春秋には、初めて当時の一年生が、ドングリ・栗・クルミなどの種を合計千個程使い、苗木づくりから行いました。現在では8割程芽が出て、すくすくと育っています。自分たちも次の世代にバトンを繋ぐスタートであることを分かち合ってもらいたいと考えています。

後になります。来年度には各学年3クラスずつとなり、小樽市の人口大幅減少に伴う本校を取り巻く入学者出願状況は本当に厳しいものがあります。諸先輩が脈々と築かれてきた商業教育の伝統と実績を活かしつつ、観光・商業都市小樽の将来を担う人材の育成と、生徒や保護者、地域の方々の期待に応えられる学校づくりを目指して取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様のますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。



小樽商業高校創立100周年記念事業

協賛会の設立について

～現在までの推進状況と

今後の事業推進のお願い～



尊商會本部幹事長
横田久俊

(52期44年卒)

東京尊商會の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？昨年の尊商會總會で幹事長を仰せつかりました横田です。井川会長の元で微力ですが尊商會發展のため頑張っております。

さて来年(平成25年)は母校の小樽商業高校が創立されて記念すべき100周年となります。これまで数度の準備會を開催して検討を重ね、来る9月8日には学校・PTA・尊商會の三者で構成する「協賛會設立總會」を開催する予定であります。

小樽在住の會員各位には協賛會理事や実働部の要としてご尽力賜うことをご了承承頂いておりますが、小樽以外の地区尊商會(東京、札幌など10地区)の皆様には、それぞれの地区で100周年記念事業を成功させるための諸活動を推進して頂けるようお願い申し上げます。

まだまだ幹事長として力不足を痛感しておりますが、何卒、皆様方の深甚なるご協力を賜りまして、無事記念事業が成功するよう全力を傾注する所存であります。準備の進捗状況につきましては随時ご報告させて頂きますのでご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

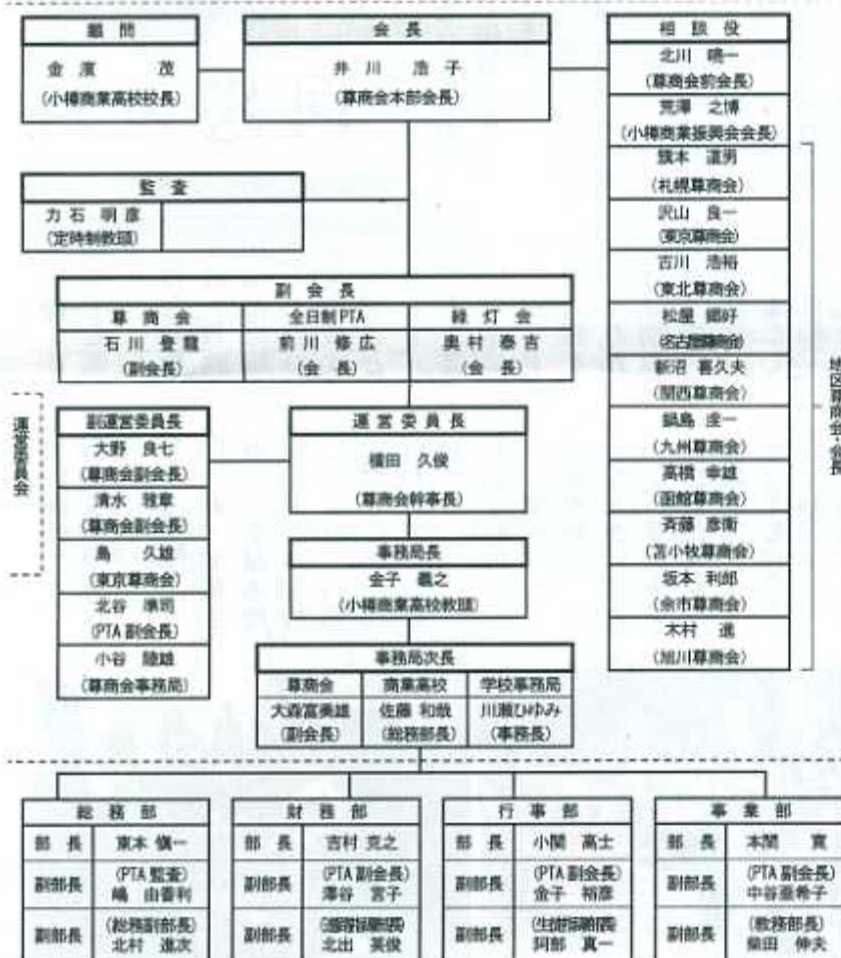


旧校舎



総合実践の授業風景

小樽商業高校創立100周年記念事業協賛会組織図



●式典

平成25年10月12日(土)

10:30～12:00

小樽商業高校体育館

●懇親会

17:00～19:00

グランドパーク小樽5階 樹林の間

●記念誌発行

創立100周年記念誌

沿革(創立～100年)、現況

■100周年記念事業開催状況も掲載
(事業終了後編集し後日発送)

■写真・動画DVDを添付
挨拶、寄稿文、座談会等

■尊商會長、校長、PTA会長挨拶文

■祝辞(市長、道教委、市教委等)

■卒業著名人等の寄稿文、座談会記録等

※記念式典当日、参加者に配布

●記念事業

教育環境整備事業 学校施設整備

(含学校林)、備品の寄贈

奨学金基金追加事業 奨学金の補充、

学生募集活動強化費用

記念文化事業 講演会、コンサート等

身近な 豆知識

携帯電話の 電磁波と発がん性

今や生活必需品として、日常生活に欠かせない存在の携帯電話。人間の身体に安全・有益な遠赤外線は波長は3ミクロン～1ミリ。それに対して、電子レンジ、コンピューター、携帯電話に使用するマイクロ波の波長は1ミリ～1センチで、人体が吸収すると有害な領域の波長と言われています。

携帯電話の送話口に方位磁石を当てると、狂ってすぐ止まります。送話口は耳と密着し、脳とつながっています。

イギリスでは1995年5月に「携帯電話から生じた電磁波が脳腫瘍をおこすのではないか」との議論が高まり、解明途上にありますが、多くの人達が脳腫瘍の発病を心配していると報じられています。

昨年7月10日(日)付、日本経済新聞の報道によると、WHO(世界保健機関)は5月に、携帯電話から出る電磁波に「発がん性があるかもしれない」としてその評価は5段階中「2B」と判定しております。評価をまとめたのは国際ガン研究機関(IARC)のタスク会議で、疫学研究、動物実験の結果からの評価で、下記2Bとランクされました。脳腫瘍は神経こう腫と聴神経そう腫を主な対象としています。

IARCによる発がん性評価 (具体例)

- 1 発がん性がある (タバコの煙、アルコール飲料、ベンゼン、太陽光線)
- 2A おそらく発がん性がある (PCB、ディーゼルエンジンからの排気)
- 2B 発がん性がある (コーヒー、ガソリンエンジンからの排気、クロロホルム)
- 3 発がん性を分類できない (カフェイン、コレステロール、茶、ジェット燃料)
- 4 おそらく発がん性はない (カプロラクタム《合成繊維の原料》)

日本でも東京女子医科大学で、携帯電話の発がん性を調べていると報じていますが、結論には至っていません。日経新聞では、証拠限定的として冷静な対応が必要としています。長電話を控え、イヤホンを使うなどをすすめています。知識として頭に入れておき、今後の情報を得ながら対応しましょう。

△沿革▽

北海道小樽商業高等学校

明治45年7月 設立認可

大正2年4月 校舎一部

落成開校式

大正2年7月

全校舎落成・開校記念日を7月9日に定める。

大正7年3月

第1回卒業生(45名)尊商会発足

昭和25年4月

昭和41年4月

昭和55年3月

平成15年11月

平成23年4月

※卒業生総数

北海道小樽緑陵高等学校と改称

北海道小樽商業高等学校と改称

現校舎に移転

創立90周年記念集会

制服改定

27、479名

(平成24年3月現在)



第9回 東京尊商会 ゴルフ会開催



参加者の集合写真



優勝の菅田さん



去る6月27日(水) 船橋カントリークラブ(千葉県白井市)で開催されました。好天の下、3組11名が力と技を競い合った結果、成績は下記の通りとなりました。条件:ハンデ戦

			アウト	イン	グロス	ハンデ	ネット
優勝	菅田 要 七 (38期)		46	44	90	13	77
2位	市川 東紀宗 (42期)		47	50	97	20	77
3位	福原 英 司 (41期)		51	48	99	22	77
ブービー	藤田 賢 治 (36期)		61	59	120	27	93

今回、砺波 孝之様(53期)より、全員への参加賞と特大海産物2点(抽選)ご寄贈戴きました。お礼を申し上げます。

次回は10月過ぎを予定しておりますので、奮ってご参加下さい。

東京尊商ゴルフ会会長 新井 博 (41期)
" 事務局 星 観二 (41期)

TEL/FAX 0476-409333 MAIL: shinonaga@shinonaga.co.jp

「同窓の絆」

平成24年 東京尊商会「同窓の絆」
実行委員長 谷澤忠之（46期）

昨年は東京尊商会発足60年の記念の会でした。

また 3月には未曾有の東日本大震災があり、「絆」が強調されましたが東京尊商会は「伝統の絆」をしっかり継承してきました。

昨年の総会で今後、本会は「東京尊商会」「同窓の絆」と呼称する事になりましたのでご承知ください。

24年 東京尊商会「同窓の絆」は10月20日（土）午後3時30分から東京都中央区八重洲「八重洲富士屋ホテル」にて開催されます。

内容は記念写真撮影、総会そして講演会、続いて懇親会を予定しています。

講演会の講師は43期（昭和35年卒）の菅原義正氏です。

氏は83年パリ・ダカールラリー初挑戦以来参戦し続け、最多連続出場30回、最多連続完走20回（ともにギネス世界記録認定）を誇るラリーードライバーで来期も参戦予定で記録更新中。

現在日本レーシングマネージメント株式会社取締役会長。世界的に有名な菅原氏の講演を挟み、和やかな雰囲気一時を過ごしていただければと思います。（懇親には充分時間をとっています）

どうぞ同窓の皆様にはお誘いあわせの上ご出席いただきますようお願いいたします。

昨年は東京尊商会60周年、そして来年は母校100周年、小樽で記念行事が行われます。とても楽しみにしています。今年の尊商会も役員一同が手作りで行います。初めての方もぜひご参加ください。

私の写真は、青梅の先、丹波山町の温泉でのものです。



事務局長
浜谷 哲男
45期（37年卒）

事務局への御連絡は
浜谷哲男 TEL (FAX)

会員の住所変更など、何なりと御相談下さい。御意見大歓迎！



1983年、41歳で初めてパリダカールラリーに二輪で出場。初めの3年間はリタイヤに終わるが、難しさ故に真剣勝負のパリダカ世界に魅了され、10年間続けることを決意。四輪部門に転向してからはトレードマークの鯉のぼりを掲げ、機転と実行力で安定した完走へと繋げていく。また成績も総合30番台にも食い込むなど、サーキットレース時代から培われた本領も発揮。常連組としての認知度も徐々に広まっていく。10年後の1992年、日野自動車との出会いによりトラック部門で新たな挑戦をスタートさせ、トラック部門の総合優勝6回、クラス優勝7回、2009年大会までの完走率は100%を誇る。ギネス記録連続完走20回を保持しており、未だその記録は破られていない。2009年に認定された同ギネス記録の「連続出場」は現在も更新中で、2012年大会で30回を数えた。



菅原義正さん（43期）



ギネス認定パリダカ世界記録
連続出場 30回 記録更新

編集後記

人生「回り持ち」

70才を超えてくると、それまでに気が付かなかった事や見えなかったものが、少しずつ、気づいたり見えたりしてきます。

あれは若気の至りであったと、ずっと後になって気付くのですがその時は全く気付かず、回りとも同調している（と思い込んでいる）ので、マイペースで進んでいきます。

未熟のなせる業も、周りの許容のもとに成り立っていた事がわかる年令になって見えるものが見えても、今度はそれをうまく伝える手段や表現が見つかりません。

若い時のベースのままで進まないことは、やがて壁にぶつかり、悩み、傷つき、困ることになっていきます。

しかし、この困った時に不思議と人に助けられる、というのも事実です。

元気づけられる助言、忠言、援助など主に年長者から受けるこれらは、恩として心に深く刻まれます。

受けた恩は必ず返すと心に誓いながらも、年月が過ぎて、恩人に先立たれてのち、やりきれない気持ちと共に恩が残ります。

どうやってこの恩返しをするか？結局、自分が困った時に受けたと同様の事を他人にすることによって、解決策を見い出します。

これが、人生「回り持ち」なのだと思得しています。

英語ではtake a duty by turns. これは、いま言われる「絆の原点」にも繋がれるものと思います。

信頼される年寄りになりたいものです。